



11月15日(水)に、劇団 民話芸術座による演劇「雨降り小僧」を鑑賞しました。
感想を一部紹介します。

☆予告を言っていた3人も、子役として出ていた人も、こんなにたくさんの人の前ですごく立派に堂々としていてすごいと思った。人前だと堂々とできなくなってしまうので、尊敬するなと思った。役者の方々は、人に背中を向けないようにするなど、私たちからするとわからないような配慮がされていて、だから私たちはリアルでおもしろい劇がみられているんだと驚いた。(中略) それだけ月日がたっても大切な人や大切な友達は忘れないし、つながってられる、信じあえていることが素晴らしいと感じた。友達を大切にしたい。

☆自分も文化祭で劇をして、どれだけの声をだせばいいのか、あんな大人数のまえでは、どれくらい緊張するのかと分かっていたから、劇団の人たちをみて、さすがプロだと思わされた。ユーモアも混ぜられていて、あきさせない工夫がしてあっていいなと思った。

☆役者さんの声が大きくて、演技もうまくてとてもおもしろかった。雨降り小僧がかわいかった。雨降り小僧はモウタが大好きだったんだと思った。(中略) 劇の小道具や演出の迫力がすごく、最後まで楽しく見ることができた。

☆雨降り小僧が40年も主人公のことを信じて待っていて、そんなに信頼できるのはすごいと思った。自分なら少ししか待てないけど、40年も信じて待つということは多分来る、じゃなくて絶対来ると信じて初めて待てると思うから、自分も周りの人のことを信じようと思った。同時に自分も周りから信頼してもらいたいように約束は絶対守ろうと思った。

☆とってもおもしろかったし、演技も上手で見てたのしかったです。子役の人もでててすばらしかった。雷も落ちてて火事の日も消せてワクワクもあったし、友情も生まれて色々なことが考えれた。戦っているときも音がでてておもしろかったです。雨降り小僧の声もかわいくて、1人2役もできててすごく憧れもあった。終始たのませてくれていい時間になりました。たのしかったです。また見たい。

☆最後の雨降り小僧とあずきのおじさん(あずきあらい)が話していた人は死ぬことを忘れて働いていると言っていて、そこから人生楽しまないとだめだなと思った。ところどころ歌もあったし楽しく見れた。二人で同時にセリフを言えるところがすごかった。

☆本当に素晴らしい演技の連続ですごい技術だなと思った。僕は文化祭の演劇で、キャストを務めたのですが、その時は声をはっきりしゃべったり、動きとセリフを同時に行うことをとても苦労したのを覚えています。さらに僕たちの劇は30分ほどでしたが、僕はセリフを暗記することも大変でした。それでも、今日みなさんの演劇をみて、クオリティの高さと努力が感じ取れ感動しました。

☆全体的に演出がすごかった。なぐり合っているときに、スピードがゆっくりになっていたり、雨や雷が照明で表現されていたり、炎も赤色の照明で表現されていたり、すごかった。同じ人でも、衣装やメイク、表情の違いで別人でホントにすごいなと思った。

